

Web3 技術を活用した地方創生を実現する「ねぶた祭 DAO」の実証実験を開始

—ねぶた祭参加者へのデジタル参加証明(NFT)発行により デジタル空間の発信・交流・特典提供を促進、地域活性化へ貢献—

- Web3 技術の 1 つである NFT^{*1} による証明機能を活用し、お祭りの参加証の発行、投稿者証明付き写真投稿、SNS 評価に基づく特典提供を実現する。
- リアルイベントにデジタル技術を取り込み、お祭りへの参加・発信・交流を盛り上げ、持続的なコミュニティを構築することで、新しい地域活性化モデルの創出を目指す。

2025 年 7 月 23 日、株式会社日立ソリューションズ東日本（本社：宮城県仙台市、取締役社長：石井 武夫）とぶらっとホーム株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 友康）は、青森県の伝統行事「青森ねぶた祭」を題材に、DAO（分散型自律組織）を活用した地方コミュニティ主導の地方創生の可能性と、RWA^{*2}によるコミュニティ資産活用の技術検証を目的とした「ねぶた祭 DAO アプリ」の実証実験を開始します。

本実証実験は青森ねぶた祭の開催期間である 8 月 2 日から 8 月 7 日を予定しており、ブロックチェーンを基盤とする Web3 技術を祭り参加者のコミュニティに導入し、祭り参加者がデジタル上で協働・交流できる場を構築することで、伝統文化と最新技術が融合した新しい地域活性化モデルの創出を目指します。

*1 NFT (Non-Fungible Token)

非代替性トークンの略で、デジタル資産の一種です。NFT は、ブロックチェーン技術を利用して、デジタルアイテムの所有権を証明するために使用されます。これにより、デジタルアート、音楽、動画、ゲームアイテムなど、さまざまなデジタルコンテンツが唯一無二のものとして取引されることが可能になります。

*2 RWA (Real World Assets)

リアルワールドアセット「現実世界の資産」と呼ばれ、狭義には不動産や株式、債権、コモディティ資産（金、石油等）や美術品などの資産を意味します。また、その資産自体についての権利や関係を記述したトークンです。（例：証券トークン = Security Token などの金融系トークン） 広義には、金融系資産を含まないより広義のリアルワールドアセット、例えば、「物」（モノ）や「設備」、「部品（コンポーネント）」も意味します。また、その資産についての権利や関係を記述したトークンです。（例：ThingsToken™）

実証実験について

本実証実験では、祭り参加者がスマートフォンを用いてデジタル空間でも祭りに参加できる以下の仕組みを検証します。

1. 参加証の NFT 発行

ねぶた祭に会場内の実証実験参加者が会場内の QR コードを読み取ることで、ブロックチェーン上にデジタル参加証明 (NFT) が発行され、「ねぶた祭 DAO アプリ」で作成した参加者のアカウントに付与されます。紙の参加証に代わる改ざん不可能なデジタル来場記念となり、自らの思い出がデジタル資産として残ります。

2. 写真の NFT 化と共有

参加者が撮影した祭り写真を「ねぶた祭 DAO アプリ」に投稿すると、その写真に対応する「写真 NFT」が発行され、投稿した参加者のアカウントに付与されます。

投稿写真は実証実験用に取得した Instagram アカウントを通じて世界中に共有され、祭りの魅力を広く発信します。^{*3}

^{*3} 参加者が投稿した写真は NFT と紐づき「写真 NFT」となりますが、マーケットプレイスでの売買は不可としております。

3. SNS 評価と NFT 報酬

写真を中心としたコミュニケーションツールとして世界中で利用されている Instagram への投稿写真は「いいね！」数を評価指標として集計し、各投稿写真に対し評価結果に応じた価値を「写真 NFT」へ配付します。これにより、自身の投稿がどれだけ支持を得たかを「写真 NFT」で確認できます。

上記の仕組みはぶらっとホームが持つ ThingsTokenTM^{*4} を基盤として開発します。

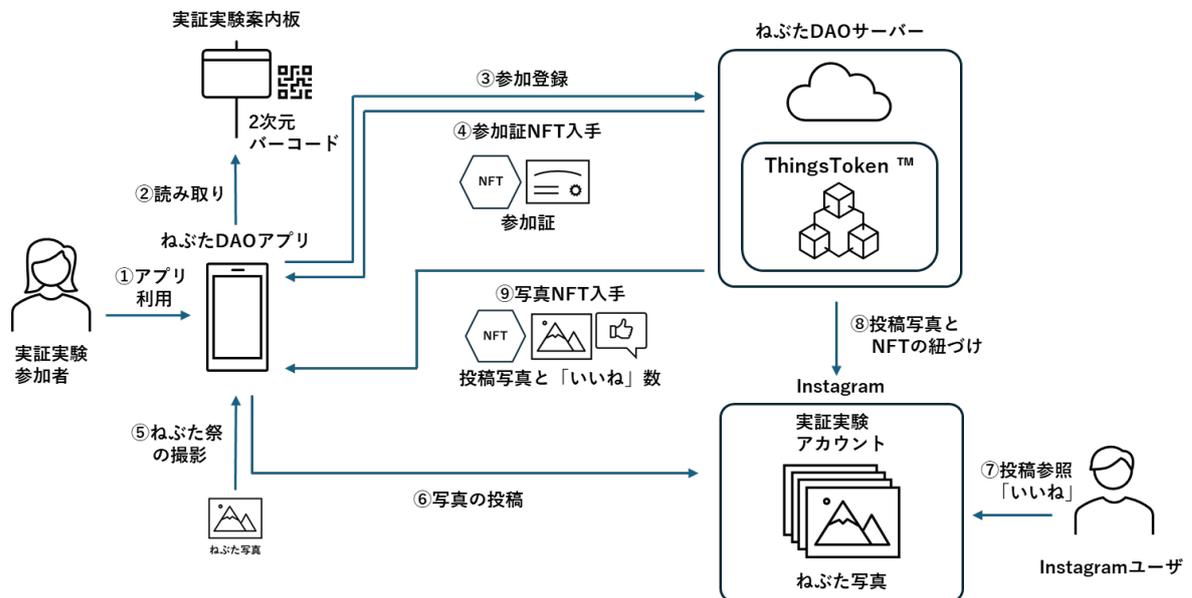
ThingsTokenTM は現実世界の「モノ」(Things) を起点とした参加者の関係をデジタルで記述するトークン技術であり、これにより、参加者は物理世界の祭りで得た体験や貢献をデジタル資産として保持し、祭り後もコミュニティに関与し続けることが可能になります。単に祭りを訪れて終わりではなく、自らの思い出や創作物が価値ある形で残り、参加者同士で共有・評価し合う循環が生まれます。

なお、写真投稿における権利処理やプライバシー保護、ブロックチェーンのセキュリティ対策についても十分に検討し、安心・安全な運営体制を整備しています。

^{*4} ThingsTokenTM

ThingsTokenTM は、現実世界の資産をブロックチェーン上に仮想化できるトークンシステム及びその技術です。

現実世界の資産（RWA: Real World Asset）のモノや設備・デバイス群を仮想化することで、Web2の世界をWeb3の世界へ結び付け、現実資産に関連したトークンエコノミクスを加速します。



Web3 技術の活用ポイント

本実証の特徴は、Web3 の分散型プラットフォーム上で参加者一人ひとりがデジタル資産を所有し、コミュニティに参画できる点です。DAO の導入により、将来的には「参加証 NFT」保有者がデジタル上の祭りコミュニティで提案・投票を行える仕組みも視野に入れていきます。さらに、現実の祭り体験やコンテンツを RWA としてトークン化することで、従来は無形だった価値に経済的意味を持たせ、新たな収益モデルの検証も行います。例えば、参加者の権利関係を明確化した上で人気の「写真 NFT」について二次流通（売買）や NFT 保有者への特典提供を通じて、祭りへの支援が経済循環につながる可能性を探ります。

期待される効果

本実証実験を通じて、祭り参加者のエンゲージメント（主体的関与）の向上や新たなファン層の拡大、さらにはデジタル資産を介した地域経済への還元といった効果が期待されます。発行された NFT の数、投稿写真数や SNS での反応などのデータ、および参加者アンケート結果を分析し、得られた知見を基に青森ねぶた祭への本格導入や他地域の祭り・イベント展開へのナレッジとします。

今後の展開

現実世界とデジタル世界を、トークンを起点として連携させることで、伝統行事と先端 IT の融合による地方創生の新モデル創出を目指す本取り組みを契機に、日立ソリューションズ東日本とぶらっとホームは今後も地域社会のデジタル活性化に向けた挑戦を継続してまいります。

また、現実の資産を管理するぶらっとホームの ThingsToken™ と日立グループの強みである現実の機械・設備を稼働する技術(OT)を組み合わせることで現実世界の課題解決を模索してまいります。

日立ソリューションズ東日本について

私たちは、お客様本位と社員・パートナー重視の考えのもと、独自に醸成したゆるぎない自主技術と日立の総合技術を基盤に、北海道・東北から国内市場はもとよりグローバルに事業を展開し、お客様と感動を分かち合えるソリューションを提供する企業として、地域社会、並びに、国際社会の発展に貢献します。

詳しくは、日立ソリューションズ東日本のウェブサイト (<https://www.hitachi-solutions-east.co.jp/>) をご覧ください。

ぶらっとホーム株式会社について

ぶらっとホームは 1993 年の創業より、Linux のパイオニアとして通信やネットワーク分野に通信用サーバーを供給してきました。ぶらっとホームの超小型 Linux サーバー「OpenBlocks®」は、大手通信事業者をはじめ、物流、輸送、金融、エネルギー産業、官公庁など日本の社会インフラの様々な領域で活用されています。ブロックチェーン領域では RWA (Real World Assets: 現実世界資産) をトークン化する新しい技術「ThingsToken™」を開発し、Web3 の社会実装を推進しています。詳しくは、ぶらっとホームの web サイト (<https://www.plathome.co.jp/>) をご覧ください。

本発表に関するお問い合わせ先

ぶらっとホーム株式会社 事業推進グループ

pr@plathome.co.jp

※ ぶらっとホームおよび Plat'Home の名称・ロゴは、日本国およびその他の国における、ぶらっとホーム株式会社の登録商標または商標です。

※ 本プレスリリースに記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。

※ 外観・仕様・価格等は予告なく変更する場合があります。